

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)12月15日
所属名：湖東農産普及課
番号：F22011
部門分類：150 野菜
発信者名：中島

ハウス白カブの生産拡大に向けて

湖東地域では、土地利用型農家や集落営農組織における冬季の収入源や仕事づくりとして、水稻育苗ハウス等を有効活用した、白カブ生産が行われています。

12月13日に、出荷品質の向上と規格の統一を目的とした出荷前目合わせ会の開催を支援しました。

湖東地域では2016年から白カブが生産されていますが、近年生産者が減少傾向にありました。そこで今年の7月に、既存生産者の技術向上と新規生産者の掘り起こしを目的とした栽培研修会を実施したところ、新たに4名が栽培に取り組まれることとなり、計11名で生産されています。生育期間中はJA東びわこと連携してハウスを巡回し、栽培支援を行ってきたところです。

12月13日の目合わせ会では、当課から今作の生育状況や、病虫害の発生状況等について説明しました。今年は気温が高く、害虫による食害が多く見られ、防除に苦戦された方が多い印象でした。JAや市場の担当者からは、出荷規格や市場の動向等について説明いただきました。生産者ほぼ全員が出席され、生産者同士で生育状況や出荷規格などについて情報交換される様子も見られました。

今後も白カブが湖東地域の重点園芸品目であり続け、産地として成長できるよう、生産を支援していきます。



規格を確認しあう生産者



収穫時期を迎えた白カブ